

涸沼の朝日



(表紙写真提供：茨城町)

茨城県のほぼ中央に位置する涸沼^{ひぬま}は、周辺を茨城町と大洗町、鉾田市の3市町に囲まれています。湖の外周は約22km、面積は約935haで、全国で29番目の大きさです。

涸沼は、全国的にも希少な「汽水湖^{きすいこ}」として知られ、関東地方ではただ1つです。汽水湖とは、海水と淡水が交じり合う湖沼をいい、涸沼の場合は、満潮時に太平洋の海水が涸沼川や那珂川を介して流れ込むことで汽水湖となっています。

また、涸沼は、貴重な植物や水鳥などが生息する“生き物の宝庫”であり、絶滅が心配されるオオワシやオオセッカなどが飛来する姿を毎年見ることができます。冬期には、スズガモなどの水鳥が羽を休めることから、「東アジア地域における重要な越冬地及び中継地」と位置づけられています。

2015年(平成27年)5月28日、涸沼の自然環境が高く評価され、国際的に重要な湿地として、県内で2つ目となる「ラムサール条約湿地」に登録されました。

涸沼に隣接する「涸沼自然公園」は、自然の地形を活かした5つの広場が設けられ、自然観察のほか、アウトドアなども楽しむことができます。特に、「太陽の広場」は、涸沼を一望できるビュースポットとなっています。

新しい年を迎える1月、ご家族・ご友人とともに、涸沼の水面に光輝く雄大な朝日を写真に収めてみてはいかがでしょうか。



◆場 所：茨城県東茨城郡茨城町中石崎2263
(涸沼自然公園)

◆アクセス：

【車】北関東自動車道「水戸南IC」から、
県道179号経由で約9km

【電車】鹿島臨海鉄道大洗鹿島線「涸沼駅」から、
タクシーで約17分

◆開館時間：9：00～17：00

◆休 館 日：4月～10月は無休。11月～3月は毎週
月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)。
年末年始。